



平成 29 年 1 月 25 日  
国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾空港技術調査事務所

## 清水港にて i-Construction 推進に向けた取組

～新型無人探査機 (ROV) を公開します～

名古屋港湾空港技術調査事務所では、港湾施設における i-Construction (アイ・コンストラクション) ※ 推進の取組を進めております。

このたび、清水港内にて新型無人探査機 [ROV (Remotely operated vehicle)] を用いた栈橋下面の点検の現地実験を予定しており、現地実験に先立ち、実験に使用する ROV を清水港湾事務所にて公開します。

(現地試験は潮位の関係から夜間作業となるため公開の予定はありません。)

### ○公開日時・場所 (※事前申込は不要です)

日時 : 平成 29 年 1 月 30 日 (月) 10:30~11:00

場所 : 中部地方整備局 清水港湾事務所 (1 階会議室)

〒424-0922 静岡市清水区日の出町 7 番 2 号

(URL) <http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp/>

車で来所の場合、事務所近くの民間施設(有料)に駐車するようお願いします。

### ○公開する ROV について

今回の現地実験 (ROV を用いた栈橋下面の点検診断技術) は、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所にて戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」の一環として開発を進めているものです。

今回使用する ROV はこれまでの ROV に比べ、次に示す機能を有しています。

- ① 波浪等による動揺に強い構造
- ② 補助設備として外部測位を用いずに点検位置を把握する機能



【現地実験に用いる ROV】

### ○配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室  
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス社

### ○問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所

担当者 : 技術課 坂口 (さかぐち)、伊藤 (いとう)

連絡先 : (TEL) 052-612-9984 (FAX) 052-612-9477

※「i-Construction」とは、「ICT (情報通信技術) の全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組です。



## ■ROVを用いた栈橋下面の点検診断技術の現地実験について

我が国の産業の国際競争力強化や国民生活を支える物流施設の港湾構造物は、耐用年数(50年)を迎える施設が多くなってきており、効率的に点検診断するには、ICT(情報通信技術)やロボット・センサ技術を活用した点検診断の技術が求められています。

港湾構造物のひとつである栈橋の下面は、狭く薄暗いだけでなく着岸船舶・潮位・波浪等による制約を受けることが多く、人による目視点検が困難な場所です。

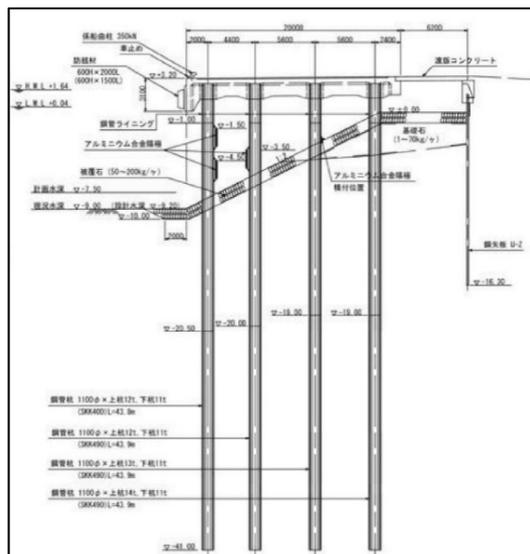
このため、名古屋港湾空港技術調査事務所は遠隔操作で動く無人探査機[ROV(Remotely operated vehicle)]による栈橋下面の劣化診断などの点検技術の導入を検討しております。

## ■現地実験の概要

○現地実験は、港湾空港技術研究所へ研究委託して実施するもので、点検作業の留意点取り纏めを目的としています。

○現地実験は潮位の関係上、夜間を予定しており、安全上の観点から公開しません。

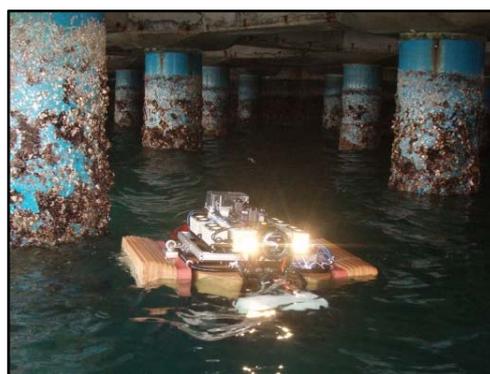
場所：富士見3号岸壁  
 時期：平成29年2月初旬を予定



## ■参考資料 [栈橋下面点検の状況写真]



【人による点検状況】



【ROVによる点検状況】